

科目コード	記号	科目名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
2115	SS39	特別講義： Special Lectures	4S	1・50分	必修	講義・通年	学修単位	
教員名		外部講師： Visiting Lecturers						
授業概要	企業の工業技術者等を講師として招聘し、先端技術の現状や技術者としての倫理観、高専卒業生の社会的役割への要望などの講演を聴く。							
	到達目標			評価方法				
1)技術者としての社会的役割に対する自覚を養うことができる。 2)技術者としての倫理観を養うことができる。 3)先端技術の一端に触れることにより、優れた技術者になるためのモチベーションを高めることができる。			講演ごとに提出するレポート(100%)によって評価する。 ただし、1テーマでもレポートが未提出の場合は評価の対象としない。					
学習・教育目標		(D ①)	JABEE基準1(1)		(d)-(2)-a)			
授業計画	前 期		後 期					
	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
			講演会を約7回程度行う。今年度の講演内容は未定である。 昨年度の講演題目は以下のとおりである。  (講義は前後期にわたって適宜分散した日程で実施する)					
	第1		プリント基板実装に関する技術とその周辺について (ティーユーエレクトロニクス 中嶋一裕)					
	第2		IT産業の現状とSEになるためには (宇部情報システム 金子準二)					
	第3		環境計測の現状と将来 (片岡計測器サービス 川久保賢隆)					
	第4		メカトロニクス技術とその応用 (山口大学工学部 江鐘偉)					
	第5		企業における制御技術の応用 (宇部興産機械 平泉一城)					
	第6		組込みシステムの開発 (京都ソフトウェアリサーチ 田中康之)					
	第7		生産性の向上を目指して (宇部高専電気工学科非常勤講師 福居正信)					
関連科目	情報工学、制御工学、マイコン応用学、計測工学							
教科書	使用しない							
参考書	本科で使用した専門科目の教科書							
授業評価・理解度	期末に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員	制御情報工学科長							
備考	必要に応じてプリントを配布する。							